



～枕崎市教育委員会だより～

TEAMまくらざき

発行 枕崎市教育委員会
枕崎市中央町184番地
TEL 0993-72-0170
FAX 0993-72-0677

巻頭言

糧(かて)

枕崎市教育委員会 教育長 木之下 浩一

連日、猛暑が続く、「暑い、暑い」の連発である。各地の最高気温も次々と更新され、夏は涼しいイメージの強い北海道でも、40℃超えを記録した。日本中、昨年よりも「暑い」と感じるこの夏である。

それにしても人間は誠に勝手だ。厳しい寒さが続くと、真夏の炎天下の暑さが恋しくなる。一方、酷暑の日が続くと、真冬の寒さが懐かしく思える。人は、自分が逆境に陥ると周囲からの支援を心からありがたいと感謝する。しかし、順境に転じれば、感謝の気持ちを忘れ、逆に他人への不平不満さえ口にする。つくづく、人間は勝手なものであると思う。

暑さ寒さならいずれ季節が変わり、緩んでくる日が訪れる。しかし、私たちが生きる現実社会の問題は、ただ悲嘆にくれても解決できないことが少なくない。また、ややもすればストレスや不満を膨らませることが人情とはいえ、それでは心が落ち込んでいくばかりである。さらには、生きづらさを感じ、円滑な人間関係も築けなくなるであろう。

大切なことは、自分の身に起きたつらいことも喜ばしいことも過去の全ての経験や実績と捉え、その時その時の心の動きの一つひとつを丁寧に自分の「糧」にしていくことではないだろうか。そうしてこそ困難に遭遇したとき、今度も必ず乗り越えられると、積極的に挑戦することができる。また、困っている人を見かけたら、今度は自分が恩返しをするチャンスだと進んで手助けをすることができる。そんな心意気をもてるとともに、人間らしい生き方ができるようになるに違いないと思う。

さて、学校では1学期が終わり、夏休みに入って2週間が過ぎようとしている。家庭で子供たちはどう過ごしているだろうか。午後から釣竿を担いで海へ向かっている子供たちを時々見かけるくらいで、外で遊んでいる子供たちは稀(まれ)である。きっと学習(宿題)に取り組み、中学1・2年生は、部活動にも励んでいることと思う。市内のある中学校では、校長先生が希望する生徒を集めて補充指導をしていると聞いた。子供たちの「勉強が分かりたい」という気持ちを大切に考えて実施しているとのことだった。

ところで、多くの中学3年生にとって、3年間の部活動の締めくりとなる大会やコンクールが終わりつつある。大会やコンクールには「結果」が伴うが、最後まで勝ち残るのは1校や1人である。結果にこだわると単に勝敗だけが気になりこれまでの努力が意味のないものと考えてしまいがちだ。しかし、これまでの頑張ってきた「過程」を思い起こせば、入部以来つらい練習に打ち込んできたことや仲間と切磋琢磨しながら協力してきたこと等は「結果」以上の意義がある。また、部活動に入部していなくても様々な場面で努力や挑戦をしてきていると思う。今後、子供たちが生きていく社会は、先行き不透明な社会になるのではないかと予想されている。そのような社会を生き抜くためにも、新たな困難に直面しても逃げることなく、これまでの挑戦や経験から得た「糧」を基に真正面から対峙し、課題を乗り越え、それを再び自分の「糧」とし、人生を豊かにしていってほしい。

8月の行事予定		
日	曜	行 事
1	金	出校日
2	土	さつま黒潮「きばらん海」枕崎みなと祭り(～3日) 校外生活指導連絡会合同補導
3	日	きばらん海カッター大会 校外生徒指導連絡会合同補導
4	月	図書館休館日 県市町村教育長会合同委員会 夏の就学相談会①
5	火	定例教育委員会 夏の就学相談会② 子供の移動経路・通学路等の安全推進会議
6	水	夏の就学相談会③ 地区館連絡会 子ども読書活動推進研修会
7	木	夏の就学相談会④ 未来を拓くこごしまの教育シンポジウム(カクイックス 交流センター)
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	山の日 リフレッシュウィーク(～17日)
12	火	図書館休館日
13	水	学校開庁日(～15日)
14	木	
15	金	
16	土	青少年育成の日
17	日	家庭の日・市民会館休館日
18	月	図書館休館日
19	火	市教頭研修会 人権教育教職員等研修会
20	水	会計年度職員研修会(学校教育課) 県民スポーツ大会結団式(知覧文化会館)
21	木	出校日・市民あいさつ運動 館内整理日(図書館)・教職員健康診断① 市ICT活用に関する研修会 かつお釣り体験アドベンチャー研修会④
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	図書館休館日 南薩地区学校給食用物資納入業者食品衛生講習会 (知覧文化会館)
26	火	教職員健康診断② 学校備品検査 第2回県指導主事会議(県民交流センター～27日) 県社会教育研究会夏期セミナー(県民交流センター)
27	水	教職員健康診断③ 人権問題啓発研修会
28	木	定例教育委員会 館内整理日(図書館) SC・SSW・教育支援センター指導員研修会 第76回県図画作品展(黎明館 ～31日)
29	金	市フレッシュ研修(社会教育) ※会計年度職員出勤日
30	土	
31	日	

枕崎市中学生弁論大会の開催

7月4日(金)、枕崎市市民会館で枕崎市中学校弁論大会を開催しました。枕崎市内の4中学校の2年生が一堂に会し、各中学校代表2人、合計8人の弁士が発表を行いました。

また、この大会は例年中学校生徒連盟が中心となって企画・運営を行っている大会であり、今年度も各学校からの代表者が献身的に大会運営を行いました。

発表者は疑問に思ったことや考えていることなどを聴衆に分かりやすく伝えていました。毎年1人の最優秀賞が今年度は2人出るなど聴きごたえのある大会になりました。



授賞式の様子

サントリーホールディングスとの環境教育

7月2日(水)、桜山小学校と立神小学校において、本市と協定を結んでいるサントリーホールディングスによる環境学習が行われ、3・4年生がペットボトルの製造方法やリサイクルについて学びました。

今回の授業では、実際に実物に触れ、動画を見たり、講話を聞いたりしました。今回の授業を通し、ペットボトル飲料を購入して飲み終わった後、廃棄したペットボトルが適切に回収され、再びペットボトルとして生まれ変わるということを知り、これからはルールを守ってリサイクルに出したいという目標を立てた児童もいました。



県図画作品展枕崎市審査会の開催

今年度は、審査委員長に元指宿市教育委員会教育長の池田昭夫先生をお迎えして、市内幼稚園、小中学校から出品された合計102点の作品について審査を行い、県図画作品展中央審査への出品作品を選考しました。

今年度も発達の段階に応じて、素晴らしい作品が多数出品されており、甲乙つけ難く、なかなか難しい審査となりました。

なお、中央審査における入賞作品は、8月28日～31日まで県歴史・美術センター黎明館にて展示されます。



令和7年度市民あいさつ運動標語 審査結果

今年度の市民あいさつ運動標語は、小学校から634点、中学校から426点の計1,060点の作品応募がありました。御協力ありがとうございました。あいさつで明るく元気な枕崎市にしていきたいと思います。最優秀賞受賞者は、以下のとおりです。

令和7年度 各学年の最優秀賞受賞者(敬称略)

- 桜山小1年川野 綾華 ・ 枕崎小2年折口 怜
- 桜山小3年榎木 虎太郎 ・ 桜山小4年畑野 彩花音
- 別府小5年板敷 紗綾 ・ 枕崎小6年橋口 茉央
- 立神中1年鮫島 文音 ・ 立神中2年青野 呉波
- 別府中3年恒吉 瑛里奈

最優秀賞 参考作品

「あいさつで 伝わる笑顔 つながる地域」

デジタル・シティズンシップ教育

子供たちがデジタル社会と主体的に関わるスキルを高めるために、デジタル・シティズンシップ教育の推進を図っています。そのために、デジタル端末の使い手として身に付けておくべきプライバシーやクリティカルシンキングなど8つの事柄について学べるデジタル教材を小学校5・6年生一人一人の端末に導入し、それぞれのペースで課題に取り組めるようにしています。



先日は、全小学校で1回目のワークショップを開催し、講師の先生から3つのスキルについて事例を基にした話を聞きました。2回目のワークショップは、県民週間における学校開放に合わせて実施する予定です。子供たちがデジタル・シティズンシップについて学ぶ様子を是非ご参観ください。

連載「特別支援教育」

LD(学習障害)ってなに？

9月中旬より、枕崎小学校にLD、ADHD通級指導教室を開設します。その通級指導教室の対象となるLD(学習障害)について紹介します。

LD(学習障害)とは、全般的に知的発達に遅れはありませんが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論するといった学習に必要な能力のうち、一つないし複数の特定の能力について、習得や発揮が難しい障害です。

通級指導教室は、保護者や本人の希望に加え、学校が必要と認めた児童が利用できます。医学的な判断のみにとらわれず、疑いがあると学校が判断できれば通級の利用が認められます。

通級指導教室では、主に学習上の困難を改善・克服するための学習が行われます。

通級指導教室は、市内の全児童が利用可能です。

(参考文献:「障害のある子供の教育支援の手引き」文部科学省)